

# のぞみ福井ニュース

## 2025年10月秋 第92号



暑さ寒さも彼岸までといった言い伝えも今般は通用しないのでしょうか。10月に入りましてようやく朝晩は涼しく秋を感じるようになりましたが、日中は25度以上の夏日が続き、汗ばむ日も続いております。寒暖差により風邪や感染症なども多くなっているようです。とはいえ、天高く馬肥ゆる秋です。おいしい食材も徐々に出てきていますし、スポーツ芸術の秋、運動会や遠足、発表会など秋の行事も目白押しです。皆様、体調には十分お気をつけて、楽しい秋をお過ごしください。(文責:代表幹事・坪田)

### 福井支部活動報告

#### ●8月31日(日) ピアサポートカフェ嶺南

8月31日に嶺南地区、福井県敦賀市のプラザ萬象和室にて、のぞみ福井ピアサポートカフェを何年かぶりに行いました。経験者のグループには、嶺南在住の方と東京からたまたま金沢に用事がありその途中によってくださった方とのお二人が参加されました。東京本部のソーシャルワーカーと福井の幹事が対応して、ご自分の経験からのこれからの生活についていろいろとお話が弾んだようでした。

お子様を亡くされたご家族のグループには、転勤で移住した奈良から参加してくださったお母様がいました。嶺南なら交通の便もいいからと言って来てくださいました。もう十年以上も每回来てくださる2名のお母様も福井市、鯖江市から参加。子どもを亡くした親の幹事2名が対応し、年月が経っても亡くした子どものことは忘れないし、年月が経った今でこそわかったこともある。子育てが孫育てになって、孫が、亡くした子と錯覚する、の子育てをしている感覚になるときがある。これから私たちが死を迎える時、亡くした子に会えるのは楽しみだが、遺された家族がお墓を管理してくれるのか、墓終いした方がいいのでは。という話も出ました。

今回もおいしいフワフワのシフォンケーキを永平寺町のSNOWCAFE様が提供してくださいました。参加者たちはケーキで幸せなひと時を過ごしました。毎回、お心遣いを感謝いたします。今回嶺南へ遠方より足を運んでくださった参加者の皆様ありがとうございました。

#### ●世界小児がん啓発・ゴールドセプテンバーキャンペーンに参加

※今回福井支部は、CCSANTF(小児がん支援団体ネットワーク福井)の事務局としてライトアップとイベントの企画・調整・運営を担いました。

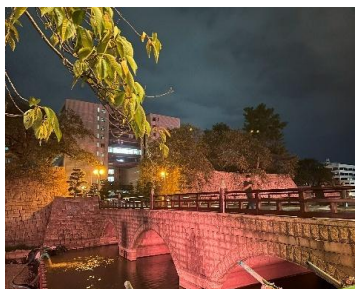


★「9月の夜空をゴールドに」に参加、福井県の後援を頂き、福井駅前恐竜モニュメントは9月1日～7日、福井城址を9月17日～18日にゴールドライトアップ

しました。福井駅前恐竜は観光客のフォトスポットになっていて、とてもいいアピールになりました。



福井城址石垣は今年、お堀の水を全部抜いた状態というめったにないシチュエーション中でもあり、見に来てくださった方も多くいました。マスコミにも取り上げて頂きました。





★9月13日(土)、福井市大和田の大型ショッピングセンターLpaの2階にあるエルパホールにて、JCCG世界小児がん啓発キャンペーン登録事業として、イベント「みんなで知ろう。小児がんのこと」を福井県、福井新聞社、FBC、福井テレビ様の後援で開催しました。県内で活動する小児がん支援団体で構成する「小児がん支援団体ネットワーク福井」CCSANKFが主催という形で、当会福井支部が中心になって、企画・運営を担当・福井本丸ライオンズ様・エルパ様の多大な協力のもと

と開催しました。

各団体のブース展示では、それぞれの特徴のある活動紹介が掲示され、オリジナルグッズ販売や、手作り雑貨のバザーもあり、大勢の方が手に取っていただきました。各ブースでの売上は各団体へ寄付金としてお預かりし、小児がんの子どもたちのための活動に大切にに使わせていただきます。

当会ブースでは、福井支部の活動紹介、小児がん資料の取り置き、小児がんに関する絵本、書籍、細谷亮太先生の書籍を展示、小児がんの子どもの絵画パネル・ゴールドリボンツリー展示をしました。絵のキャプションに涙する人もいらっしゃいました。

他団体のブースでは、大野の編み物を愛する会さんが提供してくださった、京都の作家、神門康子さんの絵画の展示があり、子どもや赤ちゃん、妖精、季節の植物などのかawaiiでは、ほっとする絵をみて、みなさん癒されていました。絵ハガキの売り上げの一部をご寄付下さいました。



ホスピタル・トイさん提供の「レモネードスタンド」では、小児がん経験者の子どもたちが自ら声掛けをし、ペットボトルのレモネードを提供していました。完売でした。

福井県立大学看護福祉学部先生と学生さんたちは、スノードームを作るコーナー、学生さんが作った手作りおもちゃや塗り絵、お絵かきで遊ぶコーナーを提供してくださいました。



ふくいこどもホスピスさんは子どもの描いた絵で作ったパズルで遊ぶコーナーを提供してくれました。

クリニック라운のブースではガチャガチャの赤鼻やシールを鼻に着けてクラウンと記念写真を撮ったり、皿回しの体験をしたり、誰でもコミュニケーションをとって、会場を盛り上げてくださいました。



エルパの本屋さん AKUSHU BOOKBASE の店長さんは小児がん経験者。店長さんセレクト本紹介コーナーでは、本の紹介のほかに塗り絵や絵ハガキ、シールなど提供してくださいました。

ワークショップでは、山村ゆかさんの絵本の読み聞かせから始まりました。店舗オープン 30 分後でしたが、何組もの親子が来てくれ、楽しんで聞いてくれました。



山田智恵美さんの「MYキワニスドールを作ろう」では、午前と午後 2 回とも盛況でした。真っ白な布のドールに布用マジックで、思い思いに髪・顔・洋服・靴を描く、あるいは好きなキャラクターを描いて作ります。支援リボンのゴールドリボンを覚えて頂くようにお人形の首や手首にゴールドリボンを結んでもらいました。みんな素敵なそれぞれのオリジナル人形が出来ていました。子どもだけでなく大人もお年寄りも楽しんで作ってくれました。HPS(ホスピタルプレイスペシャリスト)や骨髄バンクコーディネーターでもある山田さん、ドールの提供団体であるキワニスクラブのこと。キワニスドールは本来、病氣入院中の子どもに提供されるもの。ドールの用途の説明や HPS の紹介や献血・バンク登録のお願いも参加者にお話ししてくれました。





おかげさまで、当日、同時開催していた赤十字血液センターの献血や骨髄バンクの登録会には、骨髄バンクの登録者が6名、献血する人も普段の倍の人数がいたとのことでした。



桑島康郎さんの「誰でも楽しめるマジックショー」では、桑島さんは、現在、福井県の教職員でいらっしゃるせいか、お話もお上手で、子どもたちの闘病や入院生活、マジックとの出会い、学生生活、最近した骨髄移植の話などを交えながら、不思議で、楽しい手品をたくさん披露していただきました。観客の皆さんは、オーと声を上げたり、拍手をして鑑賞していただきました。その後、ワークショップとして参加者みなで、チュッパチャプスを使った手品の簡単「たね」づくりとその手品の手順を教えて頂きました。今回、参加したみなさんには、闘病の大変さとマジックの楽しさ、マジック愛が伝わったようです。



「クリニックラウンと一緒に遊ぼう」では、大阪のクリニックラウン協会から、だいちゃん、やよっち、みんの3人が来てくれました。クリニックラウンは病院や施設に特化した道化師であること、福井大学病院に月一回訪問していることも参加者に伝えながら楽しく子どもたちと遊びました。福井大学医学部附属病院小児科に訪問している関係で、小児科の鈴木先生も来場くださり、来場した子どもたちと一緒に皿回しを体験されました。ほかにも親子一緒にバルーンネズミ飛ばし大会やバルーンで剣を作ったりしました。クリニックラウンは普段、病院ではラテックスアレルギーへの配慮でバルーンを使って遊ばないが、今回はイベントということもあり特別にバルーンを使って遊んでくれました。さすがクラウン。子どもたちを楽しませるプロ。子どもは、走り回ってジャンプしてカラダ全身で楽しんで遊んでいたのがわかりました。



今回、会場が、ショッピングセンターであり、ホールがゲームセンター・フードコートの隣ということで、お買い物、ゲーム、お食事ついでに来場された方も多く、また、ライオンズさんがチラシをもって呼び込みして下さったこと、エルパ様が全館放送でアナウンスして下さったことで、人が集まり、子どもからお年寄りまでご家族みなで楽しんでもらえたようで良かったです。当日、10時オープン16時クローズの間に受付のカウンターでとった来

場者数は206名でした。多くの来場者が小学生以下の子ども連れのファミリー層で、たくさんの方がワークショップに参加し楽しんで学んでくださいました。今回の参加者たちの心の片隅に小児がんの事、患者家族のことが少しでものこってくれていたらうれしいです。ありがとうございました。

各団体ではお手伝いにボランティアで来て下さった方が多数いました。美方高校の生徒さん、県立大学の学生さん、大野編み物を愛する会さんのメンバー、本丸ライオンズさん有志、当会福井支部読み聞かせのメンバー、ありがとうございました。たくさんの力が集まって一つのことを成し遂げることは大変ですが、とても楽しいことでもあります。次回も何か皆さんでつながって小児がん患児家族のために出来たらうれしいです。お疲れさまでした。



★9月19日(金)～20日(土) 大野市のショッピングセンターVIOにて大野編み物を愛する会様主催で小児がん啓発イベントを開催しました。当会は資料とゴールドリボンツリー子供の絵画パネルを展示しました。ハンドマッサージやバザーくじびきなど楽しいイベントで、有名な名物いもきんつばを買い求める方や、たくさんの方がお買い物がてら見に来られました。ハンドマッサージの施術代の一部をご寄付下さいました。



★9月21日(日)～23日祝日 勝山市の尊光寺の住職様と奥様が是非自坊で啓発イベントをやりたいと、子どもの絵を掲示くださり、福井新聞社の取材も受けました。絵のキャプションを読んだ来場者の感想では、小児がんの子の事を思うと胸が締め付けられます。涙が出ます。というものが多かったです。ご寄附もいただきました。温かいお気持ちをありがとうございました。

## お知らせ

●10月28日(火)～11月16日(日)

みんなの活動パネル展2025—市民活動って面白い— ハピリン4階福井市総合ボランティアセンター

パネル出展します。どうぞお越しください。

●11月8日(土)13:00～15:30

令和7年度小児慢性特定疾病児保護者・支援者交流会 福井県立図書館文書研修室

講演「病気を抱えた子どもの将来の生活、障害年金について」

講師 社会保険労務士法人 リヴル総研 福井浩章氏

公益財団法人がんの子どもを守る会福井支部 幹事が参加します。

★その他の活動の様子など詳しくは、福井支部ホームページ、フェイスブックページ、Instagramに都度記載し速報といたします。



福井支部 HP



本部 HP



福井支部 FACEBOOK ページ

発行 : 公益財団法人がんの子どもを守る会福井支部

TEL: 0776 - 22 - 5132

MAIL: nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp